

## N8803-068/068L/E068/E068L SASコントローラ ユーザーズガイド

### まえがき

このたびは、N8803-068/068L/E068/E068L SAS コントローラをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書は、N8803-068/068L/E068/E068L SAS コントローラ（以降「本製品」と呼ぶ）を正しく、安全に設置、使用するための手引きです。本製品を取り扱う前に必ずお読みください。また、本製品を使用する上でわからないこと、不具合が起きたときにもぜひご利用ください。本書は、必要な時にすぐに参照できるようにしておいてください。

本製品を取り付ける本体装置の取り扱いについての説明は、「本体装置のユーザーズガイド」を参照してください。また、本製品を取り扱う前に「使用上のご注意」を必ずお読みください。

製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください。

---

## 商標について

Microsoft とそのロゴおよび、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

ESMPRO、EXPRESSBUILDER は、日本電気株式会社の登録商標です。

なお、本文には登録商標や商標に(TM)、(R)マークは記載しておりません。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

---

# 目次

目次.....	3
使用上のご注意 ～必ずお読みください～ .....	4
本書で使用する記号とその内容 .....	5
安全上のご注意 .....	6
取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～.....	11
本書について.....	12
梱包箱の中身について.....	13
データの保管について.....	14
輸送について.....	14
保守用部品について .....	14
本書で使用する略称 .....	14
仕様.....	15
本製品の特徴 .....	16
ハードウェアのセットアップ .....	17
本製品の取り付け時の注意事項 .....	17
ブラケットの選択・取り付け .....	18
テープ装置の接続.....	19
本製品の交換.....	19

このユーザースガイドは、必要なときすぐ参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。  
「使用上のご注意」を必ずお読みください。

## 使用上のご注意 ～必ずお読みください～

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

### 安全に関わる表示について

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**







人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



**注意**





火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。




	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

## 本書で使用する記号とその内容



### 注意の喚起

	特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。
	高温による障害を負うおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。

### 行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。
	分解・修理しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。







### 行為の強制





	電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

## 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解いただき、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の「安全にかかわる表示について」の説明を参照してください。本安全上のご注意は物理デバイスとして記載されていますが以降の章はテープ装置として記載しています。

### <全般的な注意事項>

 <b>警告</b>	
	<p><b>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</b></p> <p>本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。</p>
 	<p><b>煙や異臭・異音が生じたまま使用しない</b></p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに本体装置の電源をOFFにして電源コードをACコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p>
 	<p><b>針金や金属片を差し込まない</b></p> <p>通気孔やカートリッジ挿入口から金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。</p>

 <b>注意</b>	
  	<p><b>装置内に水や異物を入れない</b></p> <p>装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐに本体装置の電源をOFFにして電源コードをACコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社に連絡してください。</p>

## <電源・電源コードに関する注意事項>



### 注意



#### 電源がONのまま取り付け・取り外しをしない

本体装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードをACコンセントから抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電するおそれがあります。



#### 破損したケーブルを使用しない

ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れたりしていないことを確認してください。破損や曲がっているコネクタおよび汚れたコネクタを使用するとショートにより火災を引き起こすおそれがあります。



#### ぬれた手で電源コードをもたない

本製品の取り付け・取り外しの場合は、ぬれた手で本体装置の電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



#### 電源コードのケーブル部を持って引き抜かない

本体装置の電源コードの抜き差しは、ケーブル部を持って引っ張らないでください。ケーブルが傷み、感電や火災の原因となります。



## <設置・移動・保管・接続に関する注意事項>

### 注意



#### プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け／取り外しは本体装置の電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



#### 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。
- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ネジ止めなどのロックを確実に行ってください。

### 注意



#### 腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。

また、ほこりや空气中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



#### 高温注意

本体装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型の物理デバイスなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。

## <お手入れに関する注意事項>

### 警告



#### 自分で分解・修理・改造はしない

本製品の分解や、修理・改造は絶対にしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



#### プラグを差し込んだまま取り扱わない。

お手入れは、本体装置の電源をOFFにして、電源コードをACコンセントから抜いてください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

### 注意



#### 中途半端に取り付けない

DCケーブルやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



#### 装置前面や内部にほこりが積もった状態で運用しない

定期的に清掃してください。装置前面や内部にほこりが積もった状態で運用を続けると、火災の原因となるおそれがあります。装置内部の清掃が必要な場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご相談ください。



#### 消毒薬が手指に付着した状態で本製品の取り付け・取り外しをしない

オプション製品の取り付け、取り外しは、消毒薬が手指に付着した状態で行わないでください。消毒薬が本機に付着することにより、腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。



<運用中の注意事項>

 **注意**



**雷がなったら触らない**

雷が鳴りだしたら、本製品内蔵の本体装置には、触れないでください。感電するおそれがあります。



**ペットを近づけない**

本製品が内蔵された本体装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



---

## 取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～

本製品を使用するときに注意していただきたいことを次に示します。これらの注意を無視して、本製品を使用した場合、資産(データやその他の装置)が破壊されるおそれがありますので必ずお守りください。

- 本製品は大変デリケートな電子装置です。本製品を取り扱う前に、本体装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてください。本製品の取扱いは端の部分を持ち、表面の部品やコネクタと接続する部分には触れないようにしてください。また、本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 本製品は、他の PCI ボード（RAID コントローラ、ミラーリングボード、SCSI コントローラ等）の混在使用を制限している場合があります。本 SAS コントローラを他の PCI ボードと混在してご使用になる場合は、混在が可能かどうかお買い求めの販売店にご確認ください。
- 本製品は、他のオプションボードとの混在使用を制限している場合があります。本製品を他のオプションボードと混在してご使用になる場合は、混在が可能かどうかお買い求めの販売店にご確認ください。
- 本製品が内蔵された本体装置のそばでは、携帯電話や PHS の電源を OFF にしてください。電波による誤動作の原因となります。




---

## 本書について

本書は、Windows などのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

### <本書の記号について>

本書の中には安全に関わる注意記号の他に次の3種類の記号を使用しています。それぞれの記号は次のような意味をもつものとして定義されています。

 <b>重要</b>	装置を取り扱う上で、守らなければいけないことや、特に注意すべき点を示します。
 チェック	装置を取り扱う上で、確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や便利なことを示します。

## 梱包箱の中身について

梱包箱の中には本製品以外にいろいろな添付品が同梱されています。万一、損傷しているものがあった場合には、本製品をご購入された販売店にご連絡ください。

<構成品一覧>

### N8803-068/068L/E068/E068L

構成品目	数量	備考
SAS コントローラ	1	
PCI ブラケット	1	※1
使用上のご注意	1	
保証書	1	個別出荷時のみ ※2

※1：本体組み込みでご購入の場合、装置構成により添付となるブラケットの種類が異なる場合があります。（装置本体組み込み時に使用しない PCI ブラケットが添付になります。）

※2：組み込み出荷の場合、保証内容は本体保証書に準拠するため、個別保証書は添付されません。

## 第三者への譲渡について

本製品を第三者に譲渡（または売却）する時には、必ず本書を含むすべての添付品をあわせて譲渡（または売却）してください。



### 物理デバイス内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されている物理デバイスに保存されている大切なデータ（例えば顧客情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することの無いようにお客様の責任において確実に処分してください。

WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータは物理デバイスに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

ソフトウェアに関しては、譲渡した側は一切の複製物を所有しないでください。また、インストールした装置から削除した後、譲渡してください。

## 廃棄について

廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従って分別廃棄してください。詳しくは各自治体にお問い合わせいただくか、本製品をご購入された販売店もしくはご契約されている NEC 保守サービス会社にご相談ください。



物理デバイスやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

## データの保管について

オペレータの操作ミス、衝撃や温度変化等による装置の故障によってデータが失われる可能性があります。万に備えて、物理デバイスに保存されている大切なデータは、定期的にバックアップを行ってください。

## 輸送について

本製品を輸送する際は、本体装置から取り出し、本製品とすべての添付品を購入時の梱包箱に入れてください。

## 保守用部品について

本製品の保守用部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。

## 本書で使用する略称

正式名称	略称
N8803-068/068L/E068/E068L SAS コントローラ ユーザーズガイド	本書
N8803-068/068L/E068/E068L SAS コントローラ	本製品
オペレーティングシステム	OS
物理デバイス	物理デバイス
テープ装置	テープ装置

---

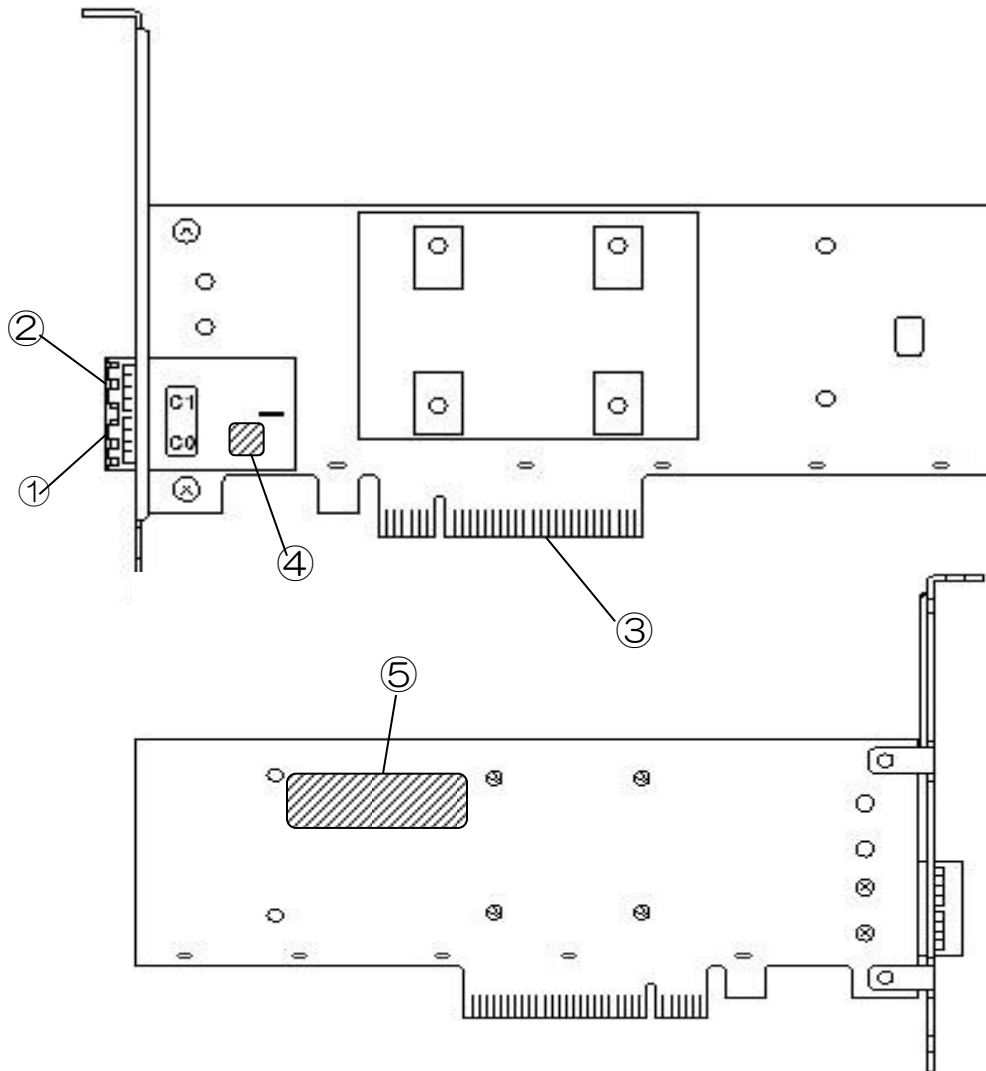
## 仕様

本製品は、下記の機能を有しています。

- SAS ポート数：外部 8 ポート
- PCI バス：PCI Express 4.0 準拠
- PCI コネクタ：PCI Express (×2)
- 最大 PCI バス転送レート：8 Gb/s/lane
- デバイスインタフェース：SAS/SATA 対応
- 最大データ転送レート：SAS (12 Gb/s または 6 Gb/s)、SATA (6 Gb/s)
- コネクタタイプ：SFF-8644 ×2

## 本製品の特徴

### 各部の説明



番号	説明
1	チャンネル 0(C0 / Port 0~3) SAS ケーブルを接続するためのコネクタです。
2	チャンネル 1(C1 / Port 4~7) SAS ケーブルを接続するためのコネクタです。
3	本体装置の PCI スロット (PCI Express) に接続するコネクタです。
4	基板のリビジョン (Rev.) を表示しています。
5	シリアル番号を表示しています。

## ハードウェアのセットアップ

本製品を本体装置に取り付ける際には、本体装置のユーザズガイドを参照してください。



- 保守サービス会社または担当営業窓口にて作業を依頼することをお勧めします。
- オプションおよびケーブルは、弊社が指定する部品を使用してください。指定以外の部品を取り付けた結果、誤動作または故障・破損についての修理は、保証期間内であっても有償になります。

## 本製品の取り付け時の注意事項



- 本製品の取り付けを行う前に、以下の注意事項を必ずお読みください。
- PCIスロット（PCI Express）には、本体装置により実装制限がある場合があります。取り付けの前に本体装置のユーザズガイドを確認してください。
  - 本製品に接続するテープ装置は、定められた規格のテープ装置を使用してください。本製品に接続可能なテープ装置については、お買い求めの販売店にご確認ください。
  - 本製品は、他のオプションボードとの混在使用を制限している場合があります。本製品を他のオプションボードと混在してご使用になる場合は、混在が可能かどうかお買い求めの販売店にご確認ください。
  - 取り外した増設スロットカバーは大切に保管してください。外したネジは、本製品の取り付けに使用しますので、なくさないでください。
  - 本製品は、PCI ホットプラグ機能には対応していません。本製品を抜き差しする場合は、必ず本体装置の電源をOFFにして、電源コードをACコンセントから抜いてください。
  - 本製品が正しく取り付けられない場合は、一旦本製品を取り外して、再度取り付けなおしてください。過度の力を加えると破損するおそれがありますので注意してください。
  - 部品が載っていない部分やブラケットを持って作業をしてください。
  - ボードの抜き差し時のヒートシンクで手をけがしないように注意してください。

## ブラケットの選択・取り付け

本製品はフルハイット PCI ブラケットまたはロープロファイル PCI ブラケットが取り付けられています。接続する本体装置に対応した PCI スロットに本製品を取り付けてください。

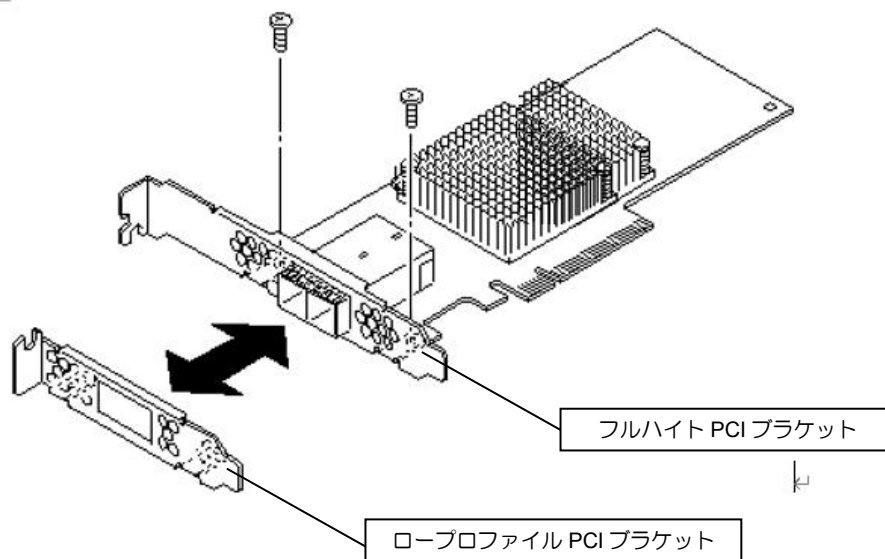
<フルハイット PCI ブラケットからロープロファイル PCI ブラケットへの交換方法>

1. フルハイット PCI ブラケットと本製品を固定しているネジ（2本）を取り外します。
2. フルハイット PCI ブラケットを取り外します。
3. ロープロファイル PCI ブラケットを取り付けます。
4. ロープロファイル PCI ブラケットを手順 1 で取り外したネジ（2本）で固定します。



ヒント

- ブラケットの交換には固定ネジのサイズに合ったプラスドライバーを使用します。
- ロープロファイルブラケットから標準のフルハイットブラケットに取り替える時も同じ手順です。



重要

- 取り外したブラケットは大切に保管してください。

## テープ装置の接続



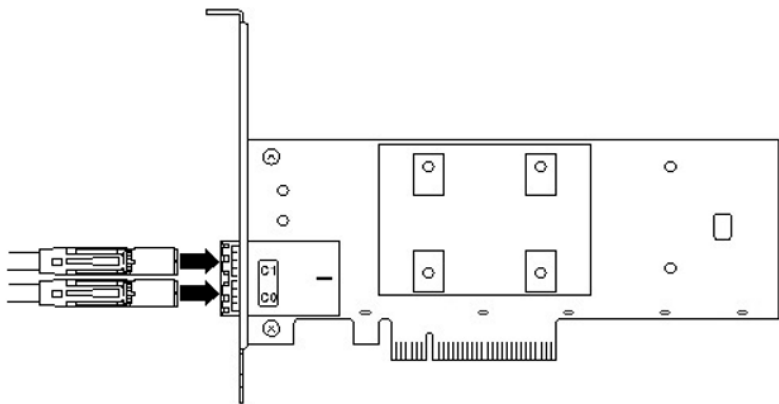
- 保守サービス会社または担当営業窓口にて作業を依頼することをお勧めします。
- オプションおよびケーブルは、弊社が指定する部品を使用してください。指定以外の部品を取り付けた結果、誤動作または故障・破損についての修理は、保証期間内であっても有償になります。
- 接続可能なSASケーブルおよびテープ装置については、当社サービスセンターまたは担当営業窓口にお問い合わせください。

1. 本体装置の電源が OFF (POWER ランプ消灯) になっていることを確認し、電源コードを AC コンセントから引き抜きます。



- 本体装置の電源が ON (POWER ランプ点灯) になっている場合は、各オペレーティングシステムの電源を OFF の処理を行った後、本体装置の電源を OFF にしてください。

2. SAS ケーブルの一方のコネクタの向きを、本製品のコネクタの向きに合わせて接続します。



3. SAS ケーブルの他方のコネクタの向きを、テープ装置のコネクタの向きに合わせて接続します。
4. 本体装置の電源コードを AC コンセントに接続します。

## 本製品の交換

本製品の取り外しは、本体装置の電源を切り、電源コードを抜いた状態で実施してください。詳しくは本体装置のユーザーズガイドを参照してください。  
本製品の取り付けは、本章の「本製品の取り付け時の注意事項」を参照してください。

---

N8803-068/068L/E068/E068L SAS コントローラ  
ユーザースガイド

2026 年 5 月 第 1 版

日本電気株式会社  
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号  
TEL(03)3454-1111 (大代表)

© NEC Corporation 2026  
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うこ  
とはできません。

**NEC**